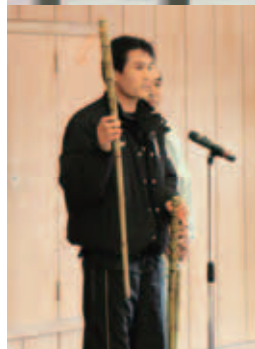


ノルディックウォーキングで全身運動



上) シンボルロードを歩く参加者たち
下) 竹製ポールを紹介をする
竹振興会の佐方さん

ポールを貸し出しています
スポーツセンターで使用する
場合のみ1回1組100円
です。

フネッピーすこやかスポーツクラブ(竹内昭剛会長)などが主催し、ノルディックウォーキング講習会が開催されました。講習会には、町内外から約80人が参加し、武道場でノルディックウォーキングについての説明が行われました。説明を受けた参加者は、2本のポールを取り、シンボルロード約3^{キロ}を歩きました。ノルディックウォーキングは、2本のポールを使用することにより、足や腰、ひざ関節の負担が軽減され、全身運動効果の高いエクササイズとして注目されており、世界中で人気が高まっています。

また、町竹振興会(野口一敏会長)より10組の竹製ポールが贈られました。町では3月までの毎週火曜日19時～21時の間、ノルディックウォーキング教室を開催します。教室の申込み・問い合わせは町スポーツセンター(☎282-4111)まで。

おやこ元気アップ



木倉小学校(北本修吾校長、129人)で児童とその保護者を対象にした、おやこ元気アップ事業が開催され、親子一緒に体操やダンスを体験しました。これは、県レクリエーション協会(有働紘子会長)が学校、地域、家庭と連携して子どもの体力向上などを目指して取り組まれているものです。親子で触れ合いながら、楽しい時間を過ごしていました。

町の防災について学ぶ



御船高校(小林博校長、692人)電子機械科の3年生5人が、町の防災に関する取組みについて、役場地域・防災係の職員から説明を受けました。これは、授業の一環でホームページ上に防災マップを作成するため、生徒たちからは、町の避難場所の選定方法、災害発生時の避難方法や連絡体制についてなどの質問が出されました。

水俣病について学ぶ



水俣病について学習するため、県内の小学5年生を対象に毎年、県教育委員会が主催する「水俣に学ぶ肥後っ子教室」が実施されています。今年も町内全部の6小学校が水俣市で勉強してきました。今回、町カルチャーセンターに小坂小学校と七滝中央小学校の児童が学習した内容が展示されています。水俣病について、学習してきた成果をぜひご覧ください。

風景を楽しみながら歩く



町には現在も、白壁の蔵や建物が残っています。このように地域のありのままの風景を楽しみながら歩くことを「フットパス」と呼んでいます。町と宇城地域観光推進協議会が協力して「御船町まちなちコース」を決定しました。この日は、町文化財保護委員の沖田昌史さん(御船)の案内で、本町商店街や妙見坂公園、眺世庵などを巡る、約7^{キロ}のコースを歩きました。

先生は授業マイスター



御船小学校(佐藤公一郎校長、308人)の赤星桂子先生は、県内で19人が認定されている「授業マイスター」です。授業マイスターは、教育の専門家としての力量、児童・生徒のために優れた教育活動などを実践している先生を、県教育庁が認定しています。この日は、熊本型教育推進フォーラムに集まった先生たちの前で、道徳の授業を公開しました。

鬼は外、福は内



若葉保育園(長野英子園長、130人)の年長児約30人が、養護老人ホームオアシス(麻生隆史施設長)の入所者と交流しました。園児たちは、歌やダンスを披露し「元気で長生きしてください」と歌にあわせて入所者の肩をたたいたあと、園児たちの前に現れた鬼に豆をまきました。最後に入所者から「みんないい1年生になってね。ありがとう」とお礼が述べられました。